

韓国の加湿器用除菌剤の回収についての情報提供

～平成 23 年度の海外事例から～

韓国保健福祉省は平成 23 年 11 月 11 日に、製品に含まれている殺菌成分が肺損傷を引き起こすとして、加湿器用除菌剤 6 製品の回収命令を出しました。

日本では回収された製品の流通は確認されておらず、同様の製品による製品事故は発生していません。しかし、韓国で同製品を使用した後肺疾患で死亡した事例の症状と動物実験で同じ症状が発生したという発表内容の重要性を鑑みて、消費者および事業者のみなさまに情報提供します。

1. 韓国における回収の概要について

韓国保健福祉省は平成 23 年 11 月 11 日に、製品に含まれている除菌成分が肺損傷を引き起こすとして、加湿器用除菌剤 6 製品（表参照）の回収命令を出しました。

回収命令の対象となった製品は、全て PHMG (polyhexamethylene guanidine) または PGH (Oligo(2-(2-ethoxy)ethoxyethyl guanidinium chloride) を主成分としています。これら 2 成分は、韓国毒性学研究所 (Korea Institute of Toxicology) で実施された吸入毒性試験において、気管周囲の炎症、上皮の脱落、肺の繊維化、炎症反応が確認されています。

詳しくは、以下の URL で公開されている韓国保健福祉省のプレスリリース（英語）をご参照ください。

http://english.mw.go.kr/front_eng/al/sal0201vw.jsp?PAR_MENU_ID=1002&MENU_ID=100203&page=1&CONT_SEQ=260454

2. 消費者・事業者のみなさまへ

① 消費者のみなさまへ

日本国内で流通は確認されていませんが、下表に掲げた加湿器用除菌剤 6 製品を持っている場合は絶対に使用しないでください。

また、加湿器を使用するときは使用上の注意などをよく読み、加湿器には水道水以外を使用しないようにするなど正しく使用しましょう。除菌剤や薬理作用のある化学薬品の加湿器への使用は、その成分やばく露状況によって健康に影響を与えるおそれがあるので、使用しないようにしましょう。

② 事業者のみなさまへ

加湿器用除菌剤や吸入ばく露の可能性のある家庭用品（例：不快害虫用殺虫剤、芳香消臭剤など）を製造・輸入する事業者は、有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律（昭和 48 年法律第 112 号）第 3 条の規定に基づき、家庭用品に含有される物質の人の健康に与える影響を把握し、その物質によって人の健康被害が生じないようにしてください。

表. 韓国で回収された加湿器用除菌剤一覧

製品名	製造事業者名	主成分
Oxy Ssakssak New Gapseupgi Dangbun (humidifier disinfectant)(liquid)	Hanvit Chemical Co., Ltd.	PHMG phosphate
Cefu Gaseupgi Salgyunje (humidifier disinfectant)	Butterfly Effect Co., Ltd.	PGH
Wiselect Gaseupgi Salgyunje (humidifier disinfectant)	Yongma Industry	PHMG phosphate
Homeplus Gaseupgi Chungjungje (humidifier cleaner)	Yongma Industry	PHMG phosphate
Atoorganic Gaseupgi Salgyunje (humidifier disinfectant)	Atoorganic	PGH
Gaseupgi (humidifier) Cleanup	Glomn Co., Ltd.	PHMG hydrochloride